

令和 6 年度 (2024 年度)

全国学力・学習状況調査 泉大津市の結果概要

令和6年度 全国学力・学習状況調査の概要

- 目的：義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
 - ◎全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ◎学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ◎そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 日時：令和6年4月18日（木）
- 対象：小学校6年生、中学校3年生
- 実施児童数 小学校6年生： 泉大津市 534人 全国 960,389人
中学校3年生： 泉大津市 541人 全国 904,048人
- 調査事項：①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学〕 / 質問調査
②学 校：質問調査
- 調査問題：・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
・各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。
- 今年度の調査の特徴：児童生徒質問調査について、全面的にオンラインによる回答方式で実施。

令和 6 年度 全国学力・学習状況調査

教科に関する調査結果 小学校

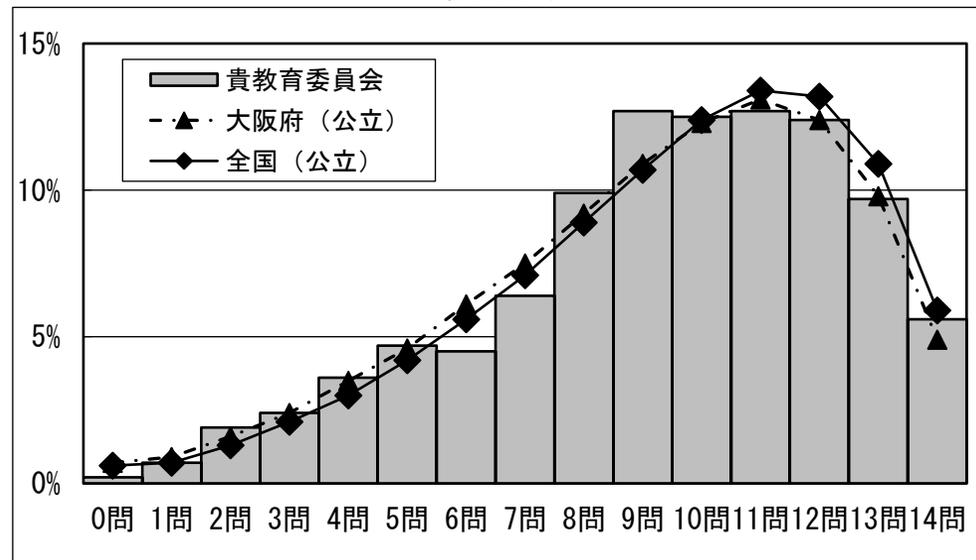
【小学校 国語】

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	9.3問 / 14問	67.0%	2.9%
大阪府(公立)	9.2問 / 14問	66.0%	4.3%
全国(公立)	9.5問 / 14問	67.7%	4.2%

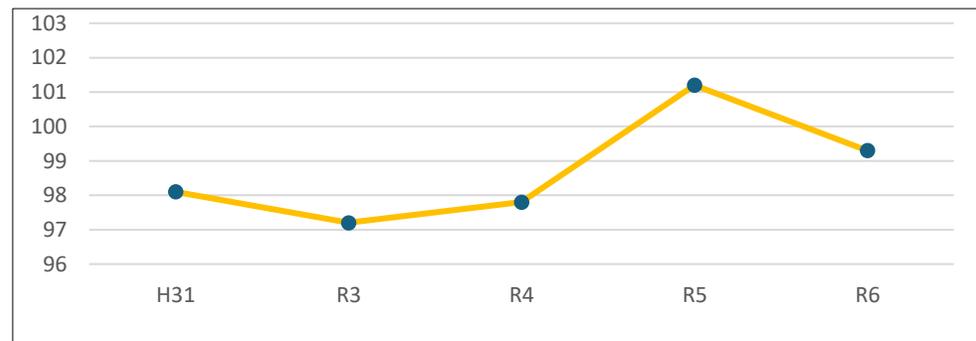
学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
		泉大津市	大阪府(公立)	全国(公立)
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	63.7	63.4	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	86.1	85.5	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	72.1	72.6	74.6
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	61.4	57.3	59.8
	B 書くこと	65.1	65.9	68.4
	C 読むこと	69.0	69.0	70.7
評価の観点	知識・技能	68.8	68.6	69.8
	思考・判断・表現	65.1	63.9	66.0

生徒質問紙の質問事項	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)		
	泉大津市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	65.6	60.1	62.0
国語の勉強は大切だと思いますか	93.9	92.7	94.5
国語の授業の内容はよくわかりますか	87.8	87.1	86.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.6	91.7	93.2

<正答数分布グラフ>



<全国の平均正答率を100%としたときの泉大津市の推移>



・「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について、概ね理解できている。

・一方、「書くこと」では、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

結果のポイント(小学校 国語)

[知識及び技能]

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

◇話し言葉と書き言葉との違いに気付くことはできている。[1ニ(1)]

◆文の中における主語と述語との関係を捉えることに引き続き課題がある。[3一]

(2) 情報の扱い方に関する事項

◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことはできている。[2一(2)]

(3) 我が国の言語文化に関する事項

◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことはできている。[3四]

結果のポイント(小学校 国語)

[思考力、判断力、表現力等]

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

A 話すこと・聞くこと

- ◆目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。[1一、三]
- ◆資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。[1二(2)]

B 書くこと

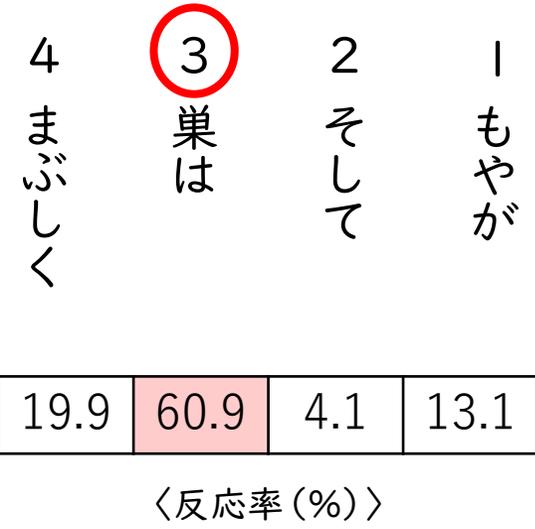
- ◇目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることはできている。[2一(1)]
- ◆目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに引き続き課題がある。[2二]

C 読むこと

- ◇人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることはできている。[3三]
- ◆登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。[3二(2)]

一原さんは、「物語」の……について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の……部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

はらっぱじゅうの ¹もやが、ひかりの雲にかわり、²そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの ³巢は、かぞえきれないほどたくさんのお日さままでできているように、きらきら、⁴まぶしく、かがやいています。

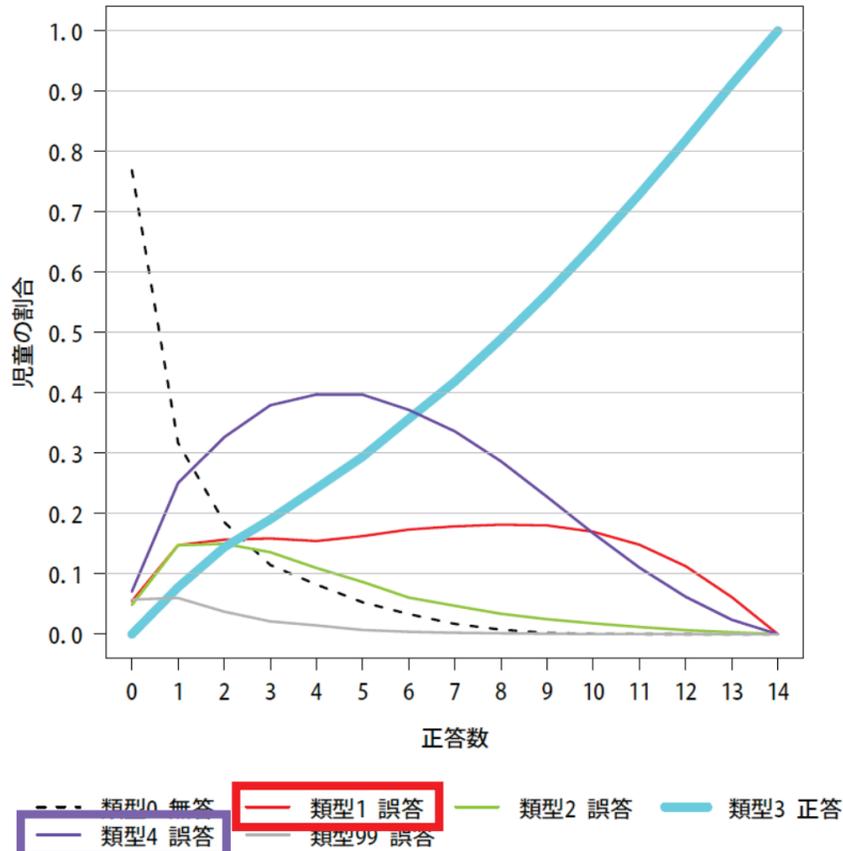


令和3年度【小学校】国語3三(2)イにおいて、課題が見られたため、出題された。
泉大津市 59.8% (全国 67.2%)



主語と述語との関係について理解することに引き続き課題があると考えられる。
泉大津市 60.9% (全国 62.5%)

3-1_正答数別類型割合グラフ



4 まぶしく
 3 巢は
 2 そして
 1 もやが

19.9 60.9 4.1 13.1

〈反応率(%)〉

解答類型1と解答類型4では、誤答の質が異なる。

解答類型1は、主語が、文の中で「何が/だれが」を表す言葉であることは理解できているが、文の中での語句の係り方を捉えずに、文の最初にある「～が」を主語として捉えたと考えられる。

解答類型4は、「かがやいています」の直前にあるため、主語と述語の関係となる言葉であると混同してしまつたと考えられる。

一原さんは、【物語】の...
 何だろうと考えています。次の...
 主語として適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

はらっぱじゅうの もやが、ひかりの雲にかわり、そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの 巢は、かぞえきれないほどたくさんの小さなお日さままでできているように、きらきら、きらきらと、まぶしくかがやいています。

主語と述語との関係について、低学年から繰り返し指導することが大切。日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることが重要。

リーディングスキル「係り受け解析」

国立教育政策研究所 R6全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料より

(2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



⑥ よく分かりました。おもしろそうですね。

⑦

そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出題されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。



目的や相手、状況などを踏まえ、話す内容と資料との整合、適切な時間や機会での資料の提示の仕方などに注意し、自分の考えが伝わるよう表現することに課題があると考えられる。
泉大津市 56.0% (全国 53.1%)

解答類型1
発言⑥の言葉や【和田さんに届いたメールの内容】を引用して話していると捉えた児童や、「そうなんです。」と相手の話を受け止めている状況を引用していると判断した児童もいたと考えられる。

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- ② 相手が興味をもっていていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

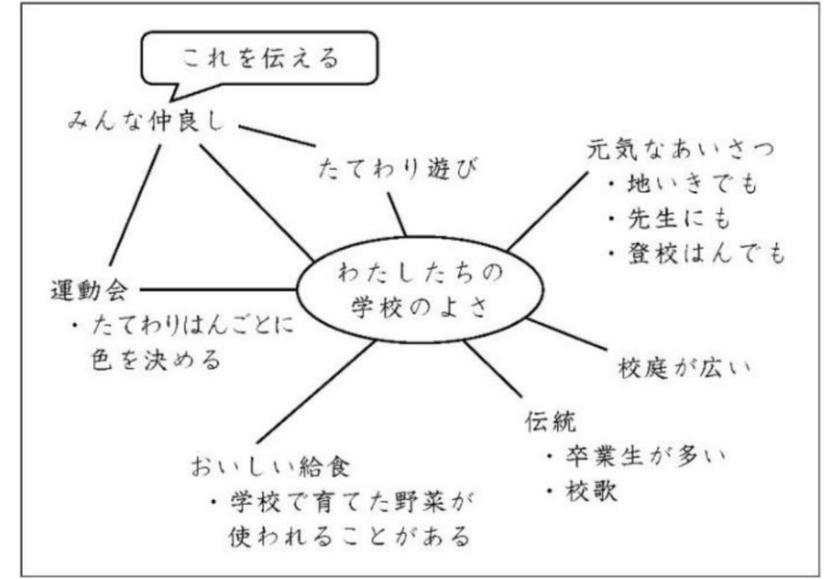
15.7	4.3	56.0	23.6
------	-----	------	------

<反応率(%)>

資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、**相手や目的を一層意識**し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要である。また、実際に話す場面では、聞き手のうなずきや表情などにも注意しながら、**聞き手の状況に応じて表現を工夫**することが大切。

【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【高山さんのメモ】



1 出来事が起こった順に言葉を線でつないでいる。

2 中央の言葉と関係する言葉を線でつないでいる。

3 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。

4 よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。

1.7	4.7	86.1	6.9
-----	-----	------	-----

〈反応率(%)〉

市・府・全国において、一番正答率の高かった問題

令和5年度【小学校】国語2三の問題において、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」に課題が見られたことを踏まえて出題された。
泉大津市 64.2% (全国 62.0%)



今回の結果から、【高山さんのメモ】における情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し適切なものを選択することについては、できている児童が多いと考えられる。
泉大津市 86.1% (全国 87.0%)

図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解することが重要。

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを
区別して書くなど、自分の考えが伝わるよう
に書き表し方を工夫する

二 高山さんは、次の【高山さんの文章】の [] に、
【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた
「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。
あなたが高山さんなら、 [] に入る内容を
どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも
1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で
活動していて、みんなが仲良しになる。このことが
学校が一番のよさだと思うから、文章に書こう。

【高山さんの取材メモ】

- 「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
- 遊びたいことを下級生に聞く
 - ルールをくふうする
- ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
 - 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
 - 4年生 みんなが楽しそうでうれしかった

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、
同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。
「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良
くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、
3色対こうで行います。上級生が下級生に伝えんの仕方を教えたり、
下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。
「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生
といっしょに伝えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。
このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになる
ところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ
活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを
下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジ
ボールでは、上級生が遠くからボールをイなげるようにしています。

〈条件〉

- 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
- 【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから
言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という
1年生や、「みんなが楽しそうでうれしかった」と
いう4年生がいます。このように、「たてわり遊び」
のよいところは、学年をこえた交流ができること
らだと思います。

(100字)

53.4

〈正答率(%)〉

解答類型		反応率 (%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いている。 ②【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いている。 ③60字以上、100字以内で書いている。			
1	条件①、②、③を満たしているもの	53.4	◎
2	条件①、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.7	
3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	1.3	
4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	38.8	
99	上記以外の解答	4.1	
0	無解答	1.7	



解答類型4の「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていない場合の反応率が38.8%と高く、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに引き続き課題があると考えられる。

泉大津市 53.4% (全国 56.7%)

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する

【解答類型4】

(例)

- ・ その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや新しい友達が増えた」という3年生、「みんなが楽しそうだった」という4年生がいました。(82字)
- ・ たてわり遊びをしている下級生の1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。このように、みんなでたてわり遊びをしました。(94字)
- ・ たてわり遊びについて、下級生からは、「新しい友達が増えた」、「みんなが楽しそうでうれしかった」などの声がありました。また、色が決まっているので、だれがどこかわかります。(84字)
- ・ 6年生が下級生に遊びたいことを聞いたり、ルールを工夫したりしています。例えばドッジボールでは、上級生が遠くからボールを投げています。1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」と言っています。(98字)



文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにすることが大切。そのためには、**取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、事実と考えとの関係を明確にできるようにする**必要がある。その際、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認めたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いていないかを確認めたりする場面を設定することも大切である。

目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する

具体的な問題例
大問3三

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする

三原さんは、島さんと話し合ったあと、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。
あなたなら、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましよう。

【話し合いの様子】

原さん		私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(①を示しながら)「わしみたいなクモが、生きるために食べているのはな」と言ってやめたところが心に残ったんだ。
島さん		なぜ、そこが心に残ったの。
原さん		この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(②を示しながら)「大きな目をひらいて、いっしょうけんめいに」とあるようなハエの女の子のすなおな姿を見て、自分がハエの子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。
島さん		そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(③を示しながら)「わしが食べて生きてるのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。
原さん		そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由ははっきりしてきたよ。島さんは、どこが心に残ったの。
島さん		私は、(④を示しながら)「きれいな虹がかんで見えるだけ」という表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

〈条件〉

- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
- 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

・オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。

(100字)

・オニグモじいさんが、「食べているのはな」と言ってやめたところや、「食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったところが心に残りました。女の子をこわがらせないようにする考え方に感動したからです。

(99字)

74.9

〈正答率(%)〉

今回の結果から、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについてはできているといえる。
泉大津市 74.9% (全国 72.6%)

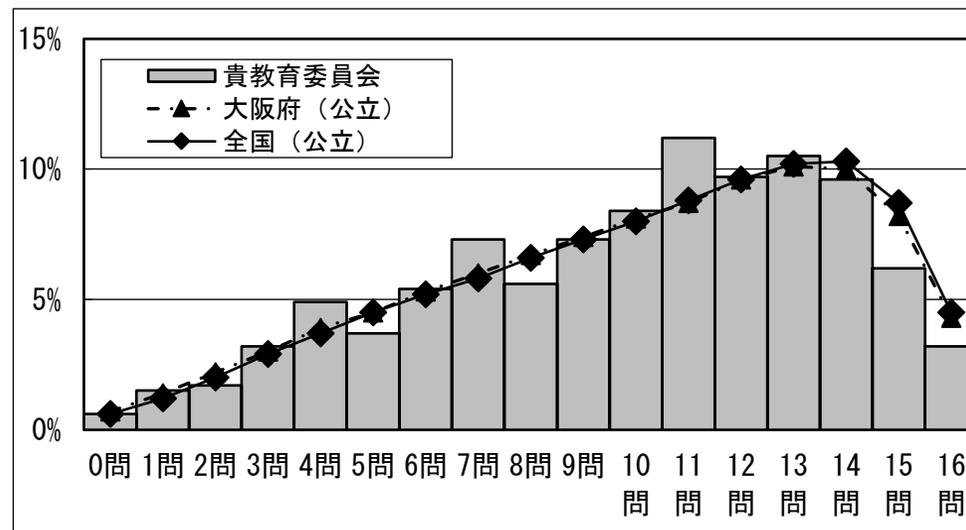
【小学校 算数】

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	9.9問 / 16問	62%	2.0%
大阪府(公立)	10.0問 / 16問	63%	3.4%
全国(公立)	10.1問 / 16問	63.4%	3.4%

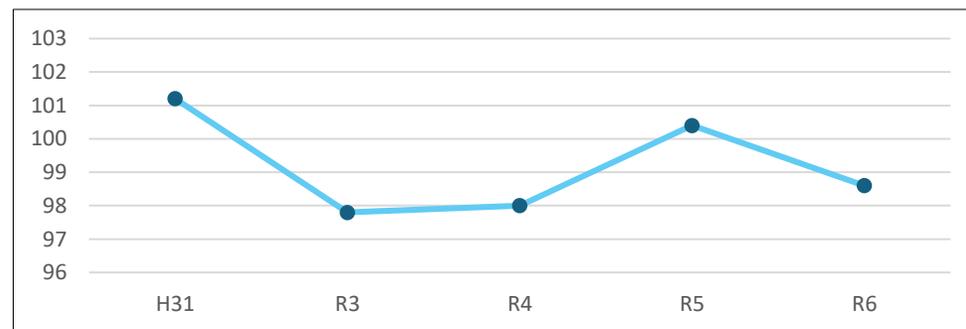
学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		泉大津市	大阪府(公立)	全国(公立)
領域	A 数と計算	64.3	65.3	66.0
	B 図形	66.0	65.2	66.3
	C 変化と関係	48.1	50.9	51.7
	D データの活用	59.2	60.9	61.8
評価の観点	知識・技能	71.4	71.9	72.8
	思考・判断・表現	49.0	50.5	51.4

生徒質問紙の質問事項	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)		
	泉大津市	大阪府	全国
数学の勉強は好きですか	59.2	59.3	61.0
数学の勉強は大切だと思いますか	92.7	93.0	94.6
数学の授業の内容はよくわかりますか	86.6	83.1	82.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	92.8	94.1

<正答数分布グラフ>



<全国の平均正答率を100%としたときの泉大津市の推移>



・「数と計算」の領域では、数量の関係を、問題場面どおりに、□などの記号を用いて式に表すことは、概ね理解できている。

・一方、領域に関わらず、理由などを言葉や数、式を用いて記述することに課題がある。

結果のポイント(小学校 算数)

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

A 数と計算

- ◇ 数量の関係を、問題場面通りに□を用いた式に表すことはできている。[1(2)]
- ◆ 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題がある。[1(1)]
- ◆ 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを記述することに課題がある。
[2(1)]

B 図形

- ◇ 直方体の見取図について理解し、かくことはできている。[3(1)]
- ◇ 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解することはできている。[3(2)]
- ◇ 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を記述することはできている。[3(4)]
- ◆ 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。[3(3)]

結果のポイント(小学校 算数)

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

C 変化と関係

- ◇ 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することはできている。[4(2)]
- ◆ 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述することに課題がある。[4(3)]
- ◆ 速さの意味について理解することに課題がある。[4(4)]

D データの活用

- ◇ 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることはできている。[5(1)]
- ◇ 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することはできている。[5(2)]
- ◆ 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述することに課題がある。[5(3)]
- ◆ 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することに課題がある。[5(4)]

具体的な問題例
大問1(1)

問題場面の数量の関係を捉え、式に表す

正答率

泉大津市 59.6% (全国 62.1%)

(1) ゆうさんは、折り紙を72枚^{まい}持っています。

ゆうさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $72 + 28$

イ $72 - 28$

ウ 72×28

エ $72 \div 28$

解答類型2

「少ない」という言葉からイ(72-28)を選択

泉大津市 34.5% (全国 32.4%)

解答類型(抜粋)	反応率(%)	正答
1 ア	59.6	◎
2 イ	34.5	
3 ウ	0.7	
4 エ	4.9	
0 無解答	0.0	

数量の関係をつかみにくい問題の解決において、問題場面を図に表し、数量の関係を捉え、式に表すことができるようにすることが大切。

具体的な問題例 大問1(1)

問題場面の数量の関係を捉え、式に表す

(1) ゆうさんは、折り紙を72枚^{まい}持っています。

ゆうさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

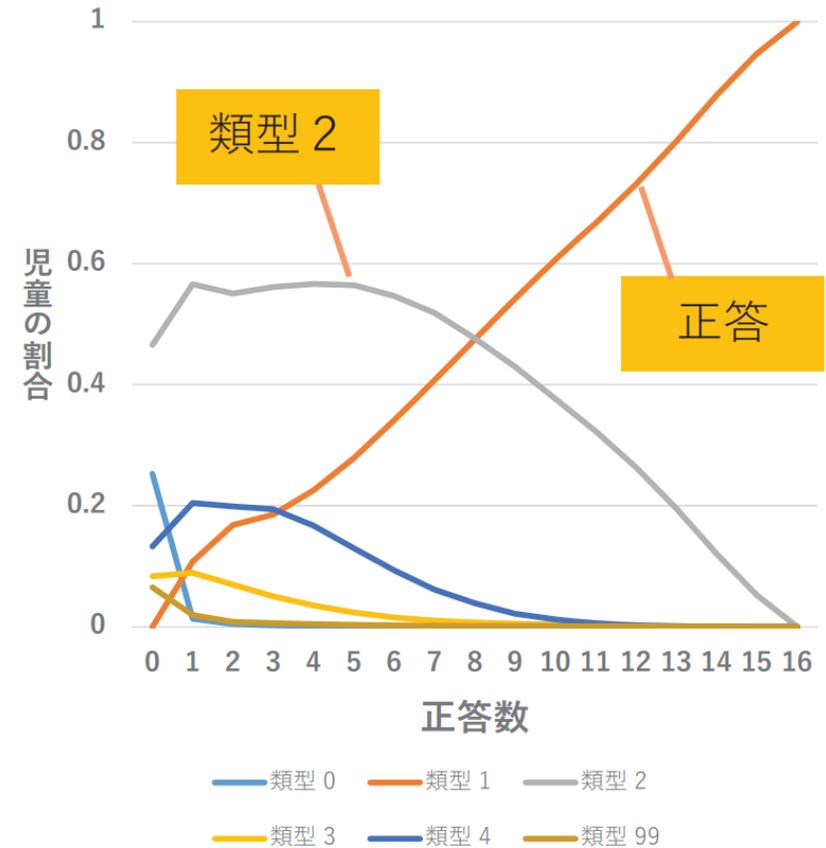
- ア $72 + 28$
- イ $72 - 28$
- ウ 72×28
- エ $72 \div 28$

解答類型2

「少ない」という言葉からイ(72-28)を選択

正答数の低い層から中間層だけでなく、正答数の比較的高い層でも、数量の関係を捉え式に表すことができていない。

正答数別類型割合グラフ



国立教育政策研究所 R6全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料より

具体的な問題例 大問1(2)

数量の関係を、□を用いた式に表す

(2) たくみさんは、はじめに折り紙を何枚か持っていました。

ゆうさんから38枚もらって、全部で62枚になりました。

このことを、たくみさんがはじめに持っていた折り紙の枚数を□枚として式に表します。

下のアからエまでの中から、正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $62 + 38 = \square$

イ $\square + 38 = 62$

ウ $\square - 62 = 38$

エ $\square - 38 = 62$

市・府・全国において、一番正答率の高かった問題

泉大津市 87.8% (全国 88.5%)

	解答類型(抜粋)	反応率(%)	正答
1	ア	2.4	
2	イ	87.8	◎
3	ウ	4.3	
4	エ	5.2	
0	無解答	0.0	

問題を解決するために、未知の数量を□などの記号を用いて、**問題場面どおりに数量の関係を式に表す**ことができるようにすることが大切。

具体的な問題例 大問2(2)、4(1)

除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解する
除数が小数である場合の除法の計算をする

350 kg の米を 1 人に 7 kg ずつ配ると、50 人に配ることができます。

1 人に 0.7 kg ずつ配るとき、配ることができる人数は、

50 人より **1** 多い
2 少ない
です。

米を配る場面
(具体的な場面)

・米を配る場面…○ ⇒85.5%
解答類型1~3
・350÷0.7 …○ ⇒76.8%
解答類型1, 4, 7

350 ÷ 7 = 50 です。

350 ÷ 0.7 の商は、50 より **3** 大きい
4 小さい
です。

350÷0.7(式)

・米を配る場面…○ } 17.1%
・350÷0.7 …× }
解答類型2, 3

解答類型(抜粋)		反応率 (%)	正答
	番号(1または2) 番号(3または4)		
1	1と解答	3と解答	68.4 ◎
2		4と解答	16.7
3		類型1, 2以外 無解答	0.4
4	2と解答	3と解答	8.2
5		4と解答	5.1
6		類型4, 5以外 無解答	0.4
7	類型1~6以外 無解答	3と解答	0.2
8		4と解答	0
0	無解答	0.7	

図に表すなどして、**具体的な場面と、式を行き来し、除数と商の大きさの関係について理解できるようにすることが大切。**

正答率
泉大津市 68.4% (全国 69.1%)

540 ÷ 0.6 を計算しましょう。

解答類型(抜粋)		反応率 (%)	正答
1	900	68.5	◎
2	90	15.4	
3	9	6.0	
4	90, 9以外の 位取りの誤り	3.0	
99	上記以外の解答	5.4	
0	無解答	1.7	

解答類型2
0.6のみ10倍して整数にし、540÷6を計算

正答率
泉大津市 68.5% (全国 70.1%)

具体的な問題例
大問2(2)、4(1)

除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解する
除数が小数である場合の除法の計算をする

2(2)と4(1)のクロス集計表 (%)

		4(1)			
		正答	誤答	無解答	合計
2(2)	正答	58.3	10.4	0.6	69.3
	誤答	11.9	15.8	1.7	29.4
	無解答	0.2	0.4	0.7	1.3
	合計	70.4	26.6	3.0	100.0

2(2) 正答

350 kgの米を1人に7 kgずつ配ると、50人に配ることができます。
1人に0.7 kgずつ配るとき、配ることができる人数は、
50人より **1** 多い **2** 少ない です。

350 ÷ 7 = 50 です。
350 ÷ 0.7の商は、50より **3** 大きい **4** 小さい です。

※表の数値は、小数第二位を四捨五入したものであるため、合計が一致しない場合がある。

4(1) 正答

2(2) 4(1)ともに正答・・・58.3% ⇒
2(2)で正答した児童の84.1%に当たる

540 ÷ 0.6 を計算しましょう。

国立教育政策研究所 R6全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料より

除数と商の大きさの関係について理解している児童は、除数が小数である場合の計算をすることが概ねできていると考えられる。

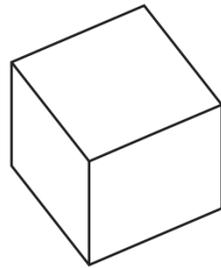
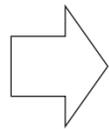
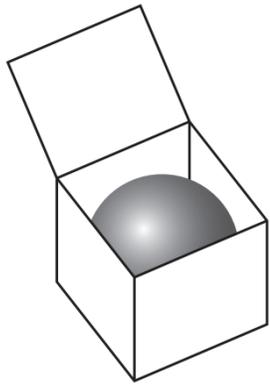
具体的な問題例 大問3(3)

球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



球の直径の長さや円周率を用いているものなど

「22×6」など

	解答類型(抜粋)	反応率 (%)	正答
1	22×22×22	32.0	◎
2	11×11×11 44×44×44	0.4	
3	22×22	8.4	
4	11×11 44×44	0.0	
5	22×3	2.8	
6	11×3 44×3	0.0	
7	3.14を用いた式	16.5	
99	上記以外の解答	33.5	
0	無解答	6.4	

正答率

泉大津市 32.0% (全国 36.5%)

この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm³かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

図形を構成する要素を見だし、図形の体積を求めることができるようにすることが大切。

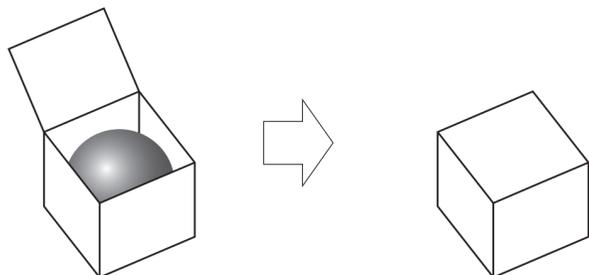
具体的な問題例 大問3(3)

球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す

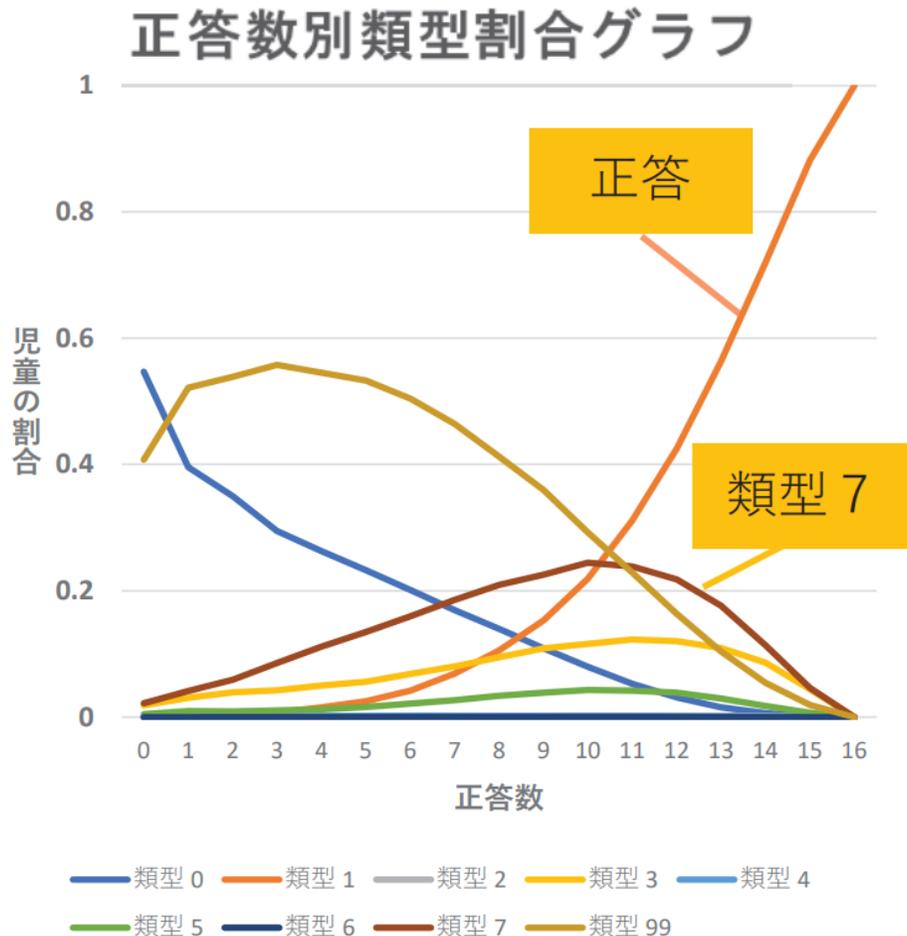
(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



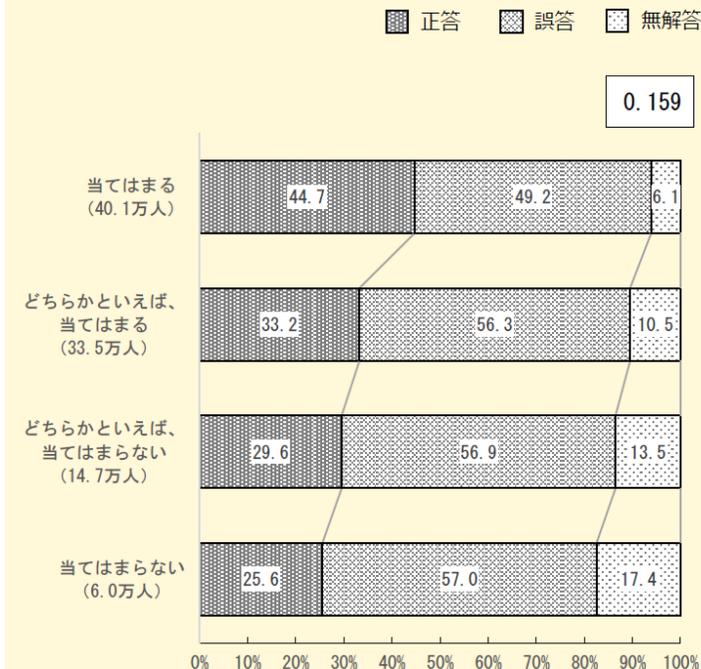
この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm³ を求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。



国立教育政策研究所 R6全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料より

クロス集計 児童質問調査 × 本設問の正答率

児童質問調査〔54〕「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の各選択肢を選んだ児童の本設問における解答状況(%)



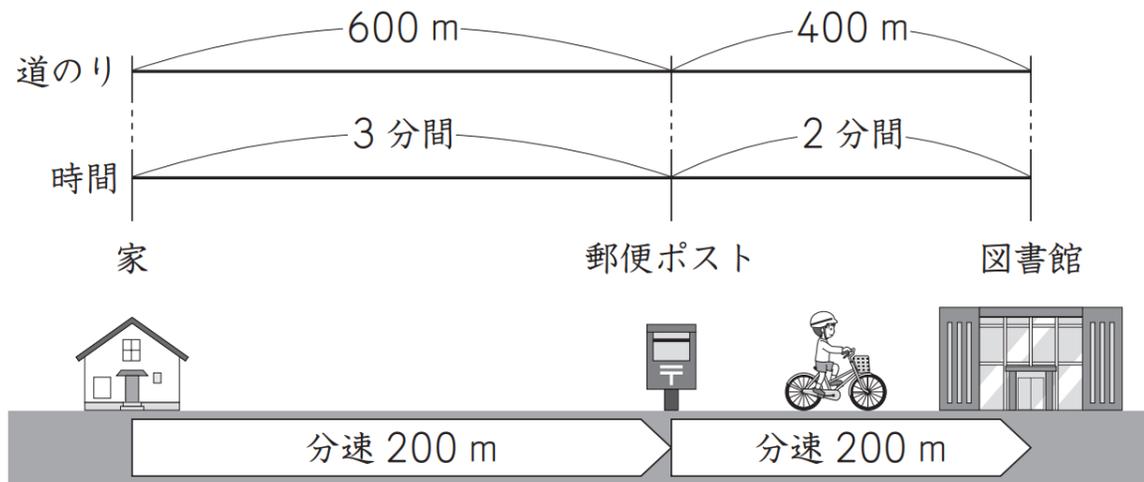
この質問に否定的に回答したグループの方が、大問3(3)の正答率が低く、無解答率も高い。

正答数のかなり多い層でないと、球の直径の長さが立方体の辺の長さに対応するという関係を捉えることができていない。

具体的な問題例 大問4(4)

速さの意味について理解する

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。

答えを書きましょう。

正答率

泉大津市 48.5% (全国 54.1%)

解答類型(抜粋)		反応率 (%)	正答
1	200	48.5	◎
2	400	29.6	
6	1000	4.5	
99	上記以外の解答	14.2	
0	無解答	2.6	

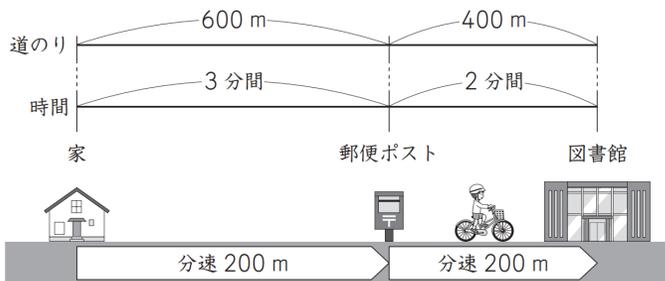
問題文の数量を用いて計算しようとしているが、分速を求めることはできていない。

速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにすることが大切。

具体的な問題例 大問4(4)

速さの意味について理解する

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。
答えを書きましょう。

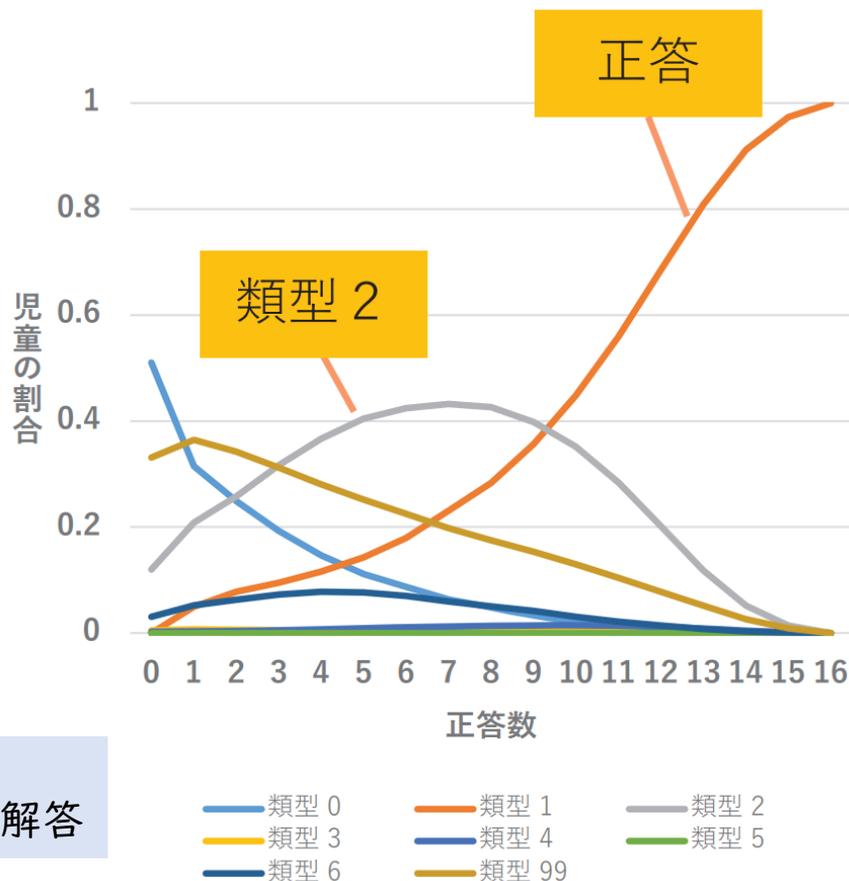
解答類型2

家から図書館までは分速400mになると解答

リーディングスキル「具体例同定」

正答数の中間層で、分速400mと解答した児童の割合が多いと考えられる。

正答数別類型割合

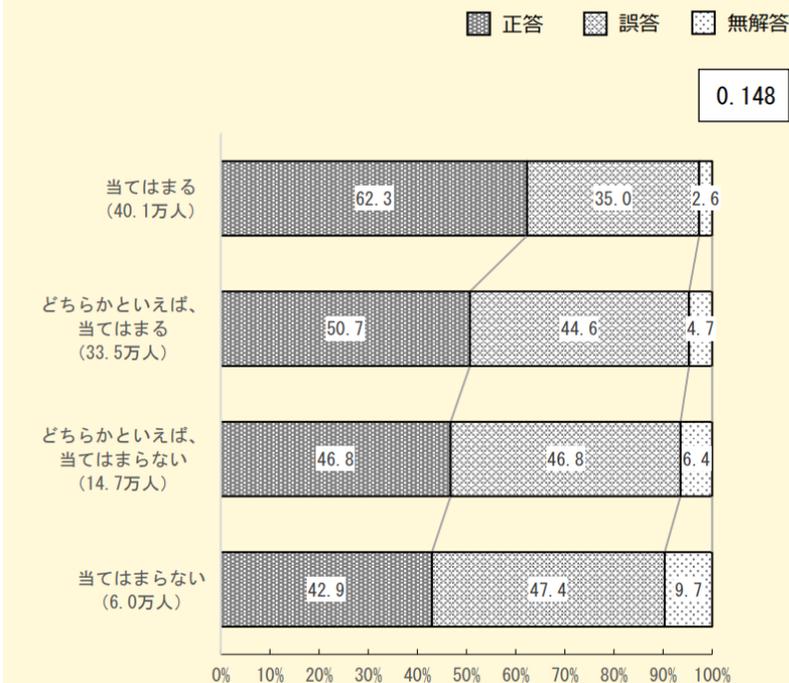


国立教育政策研究所 R6全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料より

クロス集計

児童質問調査 × 本設問の正答率

児童質問調査〔54〕「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の各選択肢を選んだ児童の本設問における解答状況(%)



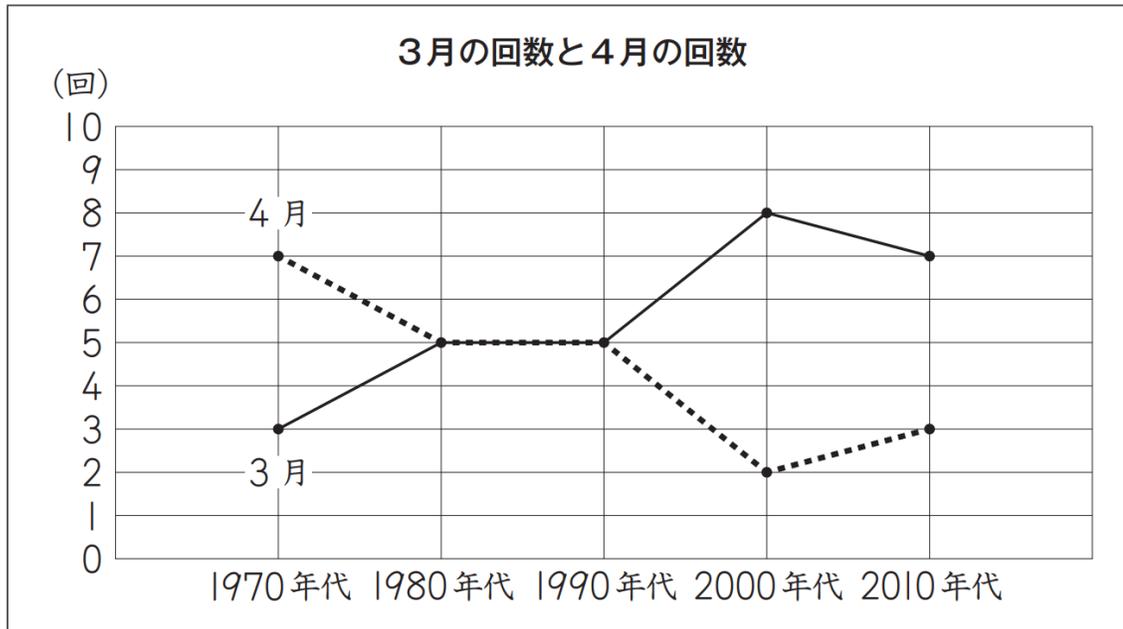
この質問に否定的に回答したグループの方が、大問4(4)の正答率が低く、無解答率も高い。

具体的な問題例 大問5(3)

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



こうた

1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。



ひなの

3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。



しおり

3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

〔正答例〕

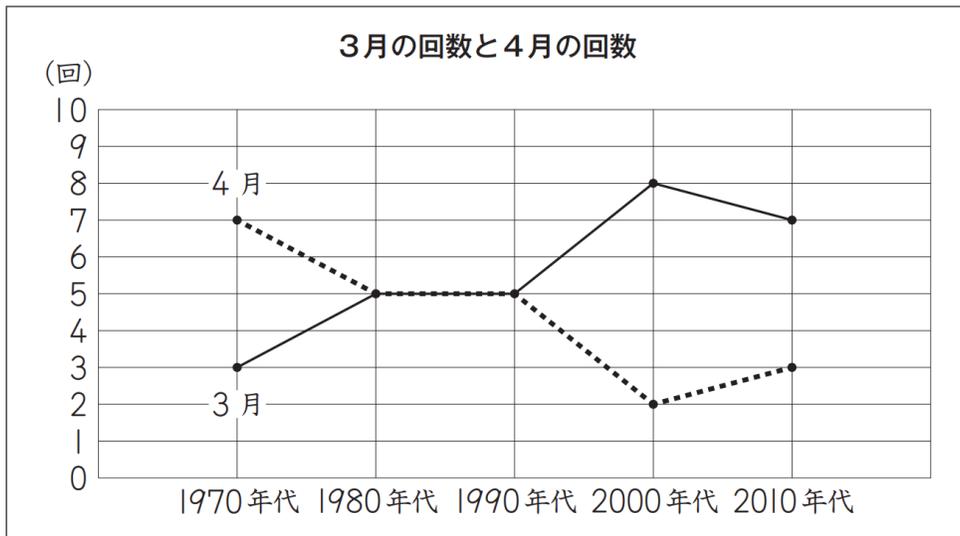
3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代は2000年代で、2000年代の3月の回数と4月の回数のちがいは6回です。

正答率

泉大津市 40.6% (全国 44.0%)

具体的な問題例 大問5(3)

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する



左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。



3月の回数を2回、4月の回数を8回と読み違えて記述

リーディングスキル「イメージ同定」

グラフを読み取り、見いだしたことを表現できるようにすることが大切。

解答類型(抜粋)		反応率 (%)	正答
1	①, ②	40.6	◎
2	①2000年代の3月の回数と4月の回数の違いが5回	2.6	
3	①2000年代の3月の回数と4月の回数の違いが8回、又は2回	0.9	
4	①2000年代の3月の回数が8回、4月の回数が2回	3.0	
5	①	23.4	
6	②	3.2	
99	上記以外の解答	16.7	
0	無解答	9.2	

[正答の条件]
次の①、②の全てを書いている
①3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代が2000年代であることを表す言葉
②2000年代の3月の回数と4月の回数の違いが6回であることを表す数

教科に関する調査結果 中学校

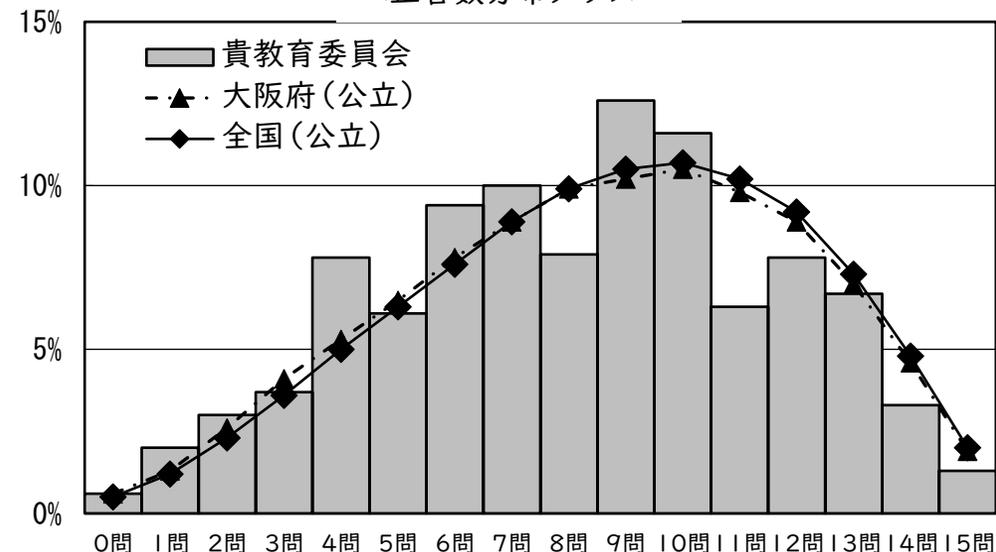
【中学校 国語】

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	8.1問 / 15問	54.0%	5.3%
大阪府(公立)	8.6問 / 15問	57.0%	4.2%
全国(公立)	8.7問 / 15問	58.1%	3.9%

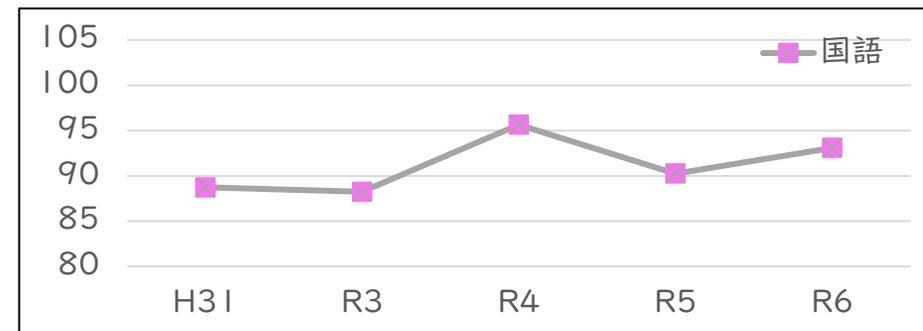
学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
		泉大津市	大阪府(公立)	全国(公立)
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	56.4	59.1	59.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	58.7	59.4	59.6
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.1	75.8	75.6
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	54.8	56.4	58.8
	B 書くこと	59.7	63.3	65.3
	C 読むこと	43.9	47.2	47.9
評価の観点	知識・技能	59.3	62.0	62.0
	思考・判断・表現	51.0	53.8	55.4

生徒質問紙の質問事項	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)		
	泉大津市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	63.2	65.2	64.3
国語の勉強は大切だと思いますか	90.7	92.9	93.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.7	84.8	82.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.7	89.3	90.6

＜正答数分布グラフ＞



＜全国の平均正答率を100%としたときの泉大津市の推移＞



・全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりましたが、「情報の扱い方」「我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと」の領域では、改善傾向にあります。

・記述式の問題については、全国の正答率と差が大きく、無解答率も高い傾向にあり、引き続き課題となっています。

結果の傾向と課題（中学校 国語）

◇意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみることは、概ねできています。

問題番号1三

『話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する』

問題番号2二

『本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する』

◆目的に応じて必要な情報に着目して要約することや、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することについては、課題があります。

問題番号2四

『本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する』

問題番号3四

『表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する』

2 次の文章を読んで、あとの問いに 答えなさい。

一口に植物といっても、世の中には多種多様ながあります。木でも草でもよいのですが、そのなかから好きなものを片端から思い浮かべて、それぞれの葉の形を一言で表してみてください。どのような言葉があがってくるでしょうか。

「楕円形の」「薄い」「先のとがった」「平べったい」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「厚ぼったい」「針のよう」「手のひらのような」……。それこそさまざまな形容があるでしょう(図)。

では次に、これらの言葉を2つのグループに分けるとしたら、どのように分けられるでしょうか。もちろん、言葉を2つのグループに分けるやり方はいろいろあるので、何が正解、ということはありません。自由に考えてみてください。

① 今、問題となっているのは「形」ですから、二次元的(平面的)な形容と、三次元的な(厚み方向の)形容に分けることはできそうです。つまり、先ほど挙げた例であれば、「楕円形の」「先のとがった」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「針のよう」「手のひらのような」は平面の形の形容で、「薄い」「平べったい」「厚ぼったい」は厚み方向の形容です。こうして見ると、平面的な形容のほうは数も多くてバラエティーに富んでいるのに対して、厚み方向の形容は、きわめて限定されている感じがします。しかも、「薄い」と「厚ぼったい」という正反対の言葉が入っているのが気になります。

しかし、考えてみると、誰も「サイコロが厚ぼったい」とは言いません。「厚ぼったい」も「薄い」も、平たい物質の形容であって、その形の本質は「平たい」ことにあるわけです。つまり、植物の葉の、三次元的な厚み方向の形の本質は「平たい」というひとつの共通の概念にまとめることができます。と

といった途端、ネギの葉はどうなんだ、という突っ込みが入りました。たしかに長ネギの葉は丸くなっています。これはどう考えたらよいのでしょうか。

八百屋さんから長ネギを買ってきてよく観察すると、白い部分は何層にもなっていて中まで詰まっているので、実際の立体的な形は円柱です。しかし、緑色の部分はほぼ一層で、中は空っぽですから、実際の形は円筒形です。葉としての役割を果たす緑色の部分は、外側一層しかなくて、丸く湾曲しているものの、ネギも平たいといえるでしょう。やはり、三次元的な形は「平たい」という一言に集約できそうです。

一方で、葉の形の、二次元的、平面的な形容は本当に多種多様です。三次元的な形は「平たい」という共通性、普遍性を示すのに対して、二次元的な形は、植物によって異なり、多様性を示すことがわかります。

この「普遍性」と「多様性」には、生き物の研究をしていると、なにかにつけておつかります。生物学とは違って、数学や物理学、それに化学の一部は、普遍性の学問です。1+1は誰にとつても2ですし、鉄がたまたま金の性質を示す、というようなことはありません。鉄は鉄、金は金です。酸素と水素が反応してできるのは水であって、たまには水ではなくて油ができてよいだろう、などといったら化学者に怒られます。

しかし、生き物を扱っていると、そのように単純には物事が進みません。植物の葉は常に緑色であるといいたいところですが、モミジは秋になると紅葉しますし、園芸店に行けばいくらでも白や黄色の斑入りの葉、あるいは紫色が鮮やかな葉を見つけることができます。植物は光合成で生きています、といった途端に、ナンバンギセルなどの寄生植物は違うだろうという突っ込みが入ります。植物の多くが緑色の葉をもって光合成をしているのは事実であって、それは植物の本質的な生き方を反映しているのですが、その本質にさえ、例外はあります。ましてや、葉の平面的な形は、植物の種類ごとに違う、多様性の宝庫なのです。

(園池公毅『植物の形には意味がある』による。)

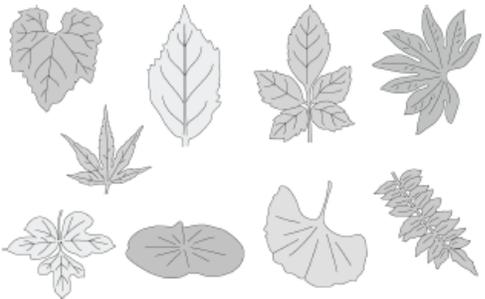


図 さまざまな形の葉

一 「図さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものとして適切なものを、次の1から4までのの中から二つ選びなさい。

① 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるとくに補助する役割。

② 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。

3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。

4 葉の形を表す言葉の中には厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。

1と、2以外	もしくは	1のみ	31.1%	} 53.7% (反応率)
2と、1以外	もしくは	2のみ	22.6%	

- ⇒
- ・図と関連する文を把握できたか
 - ・選択肢が示す図の効果を読み取れたか
 - ・筆者が伝えたい内容を読み取れたか
 - ・「二つ」選ぶ必要があることを読み取れたか

文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるとどうかを見る。

2年生 思考判断表現等
C読むこと エ〈精査・解釈〉
正答率 34.4% 全国 36.3%

全国では最も正答率の低かった問題です。

説明的な文章を読む指導にあたって

【教材についての配慮事項】

- 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。

「小学校学習指導要領解説編」P169

「中学校学習指導要領解説編」P142

⇒実生活においては、図表や写真などを伴う文章が多いことから、指導のねらいに応じて、適宜、取り上げることが示している。

リーディングスキル「イメージ同定」

授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mlang_idea_02.pdf#page=12



四 本文に書かれていることを理解するた
めに、着目する内容を決めて要約します。
次のア、イから一つ選んで要約しなさい。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのような
グループに分け、各グループにどのような
特徴があると述べているかについて。

イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とで
は、学問としてどのような違いがあると述
べているかについて。

正当の条件

- ①アとイのいずれか一つの(着目する内容)を選んで、その記号を塗り潰している。
- ②選んだ(着目する内容)について、必要な情報を適切に取り上げて書いている。
- ③選んだ(着目する内容)について、まとめて書いている。目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。

目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。

1年生 思考判断表現等

C読むこと エ「精査・解釈」

正答率 33・6% 全国 42・6%

本市で最も正答率が低く、全国との差も大きかった問題です。

正当の条件

- ①アとイのいずれか一つの(着目する内容)を選んで、その記号を塗り潰している。
- ②選んだ(着目する内容)について、必要な情報を適切に取り上げて書いている。
- ③選んだ(着目する内容)について、まとめて書いている。目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるとかどうかをみる。

正答例

① ○ ② ○ ③ ○

33.6%

ア

葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三二次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。

イ

数学や物理学は普遍性の学問、生物学は普遍的なことの中にも例外のある多様性の学問という違いがあると述べている。

無解答率 11.8%

内容間違い

~~✗~~ 筆者は、数学や物理学には法則があるけれど、生物学には法則がないと述べている。

~~✗~~ 筆者は、二次元的は平面的という特徴があり、三次元は厚み方向という特徴があると述べている。

情報不足

~~✗~~ 筆者は、数学や物理学、それに化学の一部は、普通性の学間だと述べている。

~~✗~~ 筆者は、葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分けている。

正当の条件

①アとイのいずれか一つの(着目する内容)を選んで、その記号を塗り潰している。

②選んだ(着目する内容)について、必要な情報を適切に取り上げて書いている。

③選んだ(着目する内容)について、まとめて書いている。目的に応じて必要な情報に着目して要約することができているかどうかをみる。

① ○ ② ✗ ③ ○

38.4% (反応率)

要約の指導にあたって

* 目的を明確にした上で要約に取り組むようにする

* 要約したものが目的に沿っているかどうかを考え、
必要な情報を正確に捉えて要約できるようにする

「中学校学習指導要領解説編」P69～70

⇒ リーディングスキル

「係り受け解析」や「照応解決」等で読み取ったものを「同義文判定」

コラム 「読むこと」で学びを広げる・深める

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mlan_g_idea_02.pdf#page=5



3 佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた【ノートの一部】と【物語の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【ノートの一部】

〈登場人物の設定〉

- ・「僕」……紙の辞書。語り手。
- ・「君」……紙の辞書の持ち主（中学生）。

〈もとにする体験〉

- ・小学生のとき、紙の辞書を親に買ってもらった。
- ・使い始めた頃、紙の辞書の引き方が難しく困った。
- ・最近オンライン辞書ばかり使っている。
- ・紙の辞書を久しぶりに使った。

〈物語を通して伝えたいこと〉

紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。

〈各場面で伝えたい「僕」の心情〉

- 1 出番のない寂しさ。
- 2 忘れられるかもしれない不安。
- 3 久しぶりの出番で感じた喜び。
- 4 次の出番への期待。

【物語の下書き】

- 1 あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた、ほりだらけになりながら。中学生になってから、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたリ、書き込みをしたりしてくれたのに。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。
- 2 インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。
- 3 そう考えていたとき、君は僕を手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君はほりで大きくしゃみをした。ほりだらけの僕に顔をしかめたけれど、何度もページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも線を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君はみちたりた表情をしていた。僕は自分が認められたような気がした。
- 4 あの日から数日が過ぎた。

四 佐藤さんは、【物語の下書き】の [] の部分で、【ノートの一部】の [4] の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

正当の条件

① アに、「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。

② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができ、かどうかをみる。

2年生思考判断表現等

B 書くこと ウ《考えの形成、記述》

正答率 42.7% 全国 49.3%

正当の条件

① アに、「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。

② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

正答例

①〇 ②〇

42・7%

ア

（あの日から数日が過ぎた。）窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ

「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

ア

（あの日から数日が過ぎた。）でも、君との距離は、もう遠くない。

イ

「**Ⅰ**」の場面の表現と似た表現を用いることで、「寂しさ」から「期待」に変化した「僕」の心情が分かりやすく伝わる効果がある。

無解答率 22・6%

正当の条件

① アに、「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。

② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

① ○ ② ×

25・0%（反応率）

ア（あの日から数日が過ぎた。）僕はまた本棚にしまわれた。でも、今度は君と近い距離。また使われる日を持っている。

イ久しぶりに使ったよさに「君」が気付き、「僕」を近くに置いてくれたことを表現した。

どのような効果があるのかを書いていない。

ア（あの日から数日が過ぎた。）僕は次の出番を待っている。また見たいから、君の満ちたりた表情を。

イニ文目で倒置法を用いて、「君」の満ちたりた表情を強調した。

「僕」の「次の出番への期待」とは別のことを伝える効果

自分の考えを伝える文章を書く指導にあたって

問われたこととの整合性を確認しつつ、自分が**伝えたいことを明確に**

効果を考えながら工夫して記述したり、伝えたいことが読み手に**伝わっているかを確かめて推敲**したりすることが大切

⇒前提として今回問われている「効果」の把握が必要

リーディングスキル「係り受け解析」

授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mlan_g_idea_03.pdf#page=11



三 田中さんは、短歌を紹介するための資料の中に、テーマである「月と風景」を行書で書きました。次のアからエまでの部分の書き方について説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

① アの部分は、楷書とは異なり点画を連続して書いている。

2 イの部分は、楷書とは異なり点画を直線的に書いている。

3 ウの部分は、楷書と同様に終筆を止めて書いている。

4 エの部分は、楷書と同様に点画を省略して書いている。



行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

1年生 知識及び技能

我が国の言語文化に関する事項エ(イ)書写

正答率 69.1% 全国 75.6%

リーディングスキル「イメージ同定」

7.6%	14.6%	6.3%	69.1%
------	-------	------	-------

(反応率)

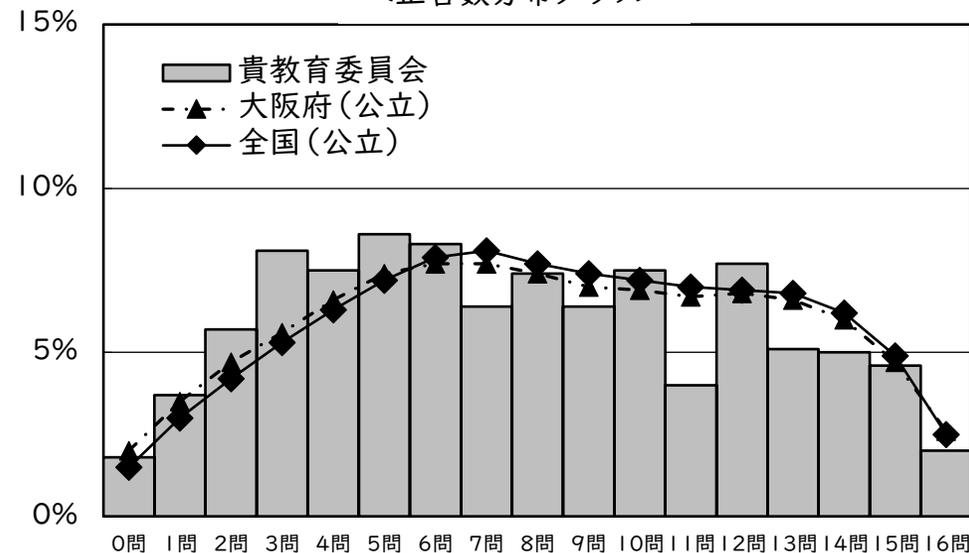
【中学校 数学】

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	7.7問 / 16問	48%	14.6%
大阪府(公立)	8.2問 / 16問	51%	12.6%
全国(公立)	8.4問 / 16問	52.5%	11.3%

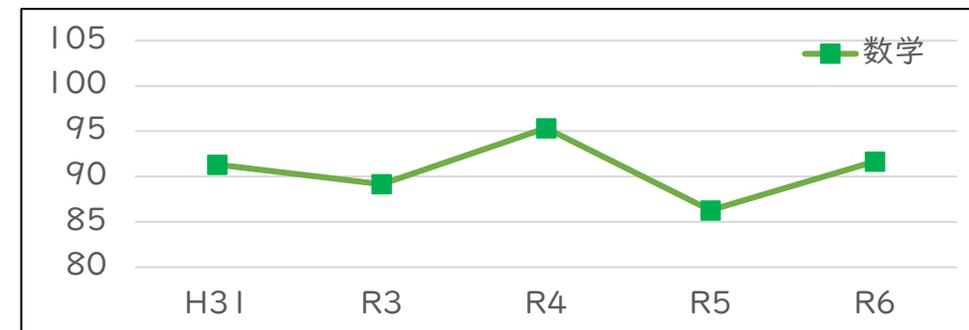
学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		泉大津市	大阪府(公立)	全国(公立)
領域	A 数と式	45.9	50.4	51.1
	B 図形	37.5	40.5	40.3
	C 関数	56.3	58.9	60.7
	D データの活用	51.7	53.3	55.5
評価の観点	知識・技能	59.6	61.9	63.1
	思考・判断・表現	23.8	28.2	29.3

生徒質問紙の質問事項	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)		
	泉大津市	大阪府	全国
数学の勉強は好きですか	54.4	56.3	56.7
数学の勉強は大切だと思いますか	76.5	83.2	85.0
数学の授業の内容はよく分かりますか	73.4	75.4	73.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	65.8	74.2	75.8

＜正答数分布グラフ＞



＜全国の平均正答率を100%としたときの泉大津市の推移＞



・全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりましたが、基礎的な知識に関する問題や、図形および関数の領域では、改善傾向にあります。

・数と式の領域では、問題ごとの正答率に大きな差があります。基本的な式変形や、事象を統一的・発展的に考察することに課題があります。

結果の傾向と課題

◇連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかや、回転移動について理解しているかどうか、二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうか等の、基本的な知識に関する問題については、概ねできています。

問題番号1

『 n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表す』

問題番号3

『正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ』

問題番号8(1)

『ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ』

◆等式を目的に応じて変形することができるかどうかや、統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することについては、課題があります。

問題番号2

『等式 $6x+2y=1$ を y について解く』

問題番号6(3)

『正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、

○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する』

具体的な
問題例
大問1

1 連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表します。 n を整数とするとき、連続する2つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表しなさい。

正答例 $2n, 2n+2$ など

$2n+1, 2n+3$ などの連続する奇数(1.8%)

$n, n+2$ などの、差が2の整数(16.2%)

$n, n+1$ などの、差が1の整数(6.6%)

$2n, 4n$ などの二つの偶数(5.9%)

$n, 2n$ などの二つの整数(8.5%)

4割近くがうろ覚え
または「偶数」「連続する」を
正確に読み取れていない

無解答率13.1%

[趣旨] 数量及び数量の関係を捉え説明する
場面において、連続する二つの偶数を、文字
を用いた式で表すことができるかどうかをみる。

知識技能
A 数と式
正答率38.8% 全国34.8%

文字を用いた式の指導にあたって

文字を用いることの良さを理解していなかったり、文字を用いた式が、なぜそのように表されるのか、理解しきれていなかったりする可能性がある。



・授業において、 $n, n+2$ や、 $2n, 4n$ など、生徒の解答を想定し、実際にそれらを用いて成り立たないことを確認するといった、間違いに寄り添った指導を日常的に取り入れることが大切。

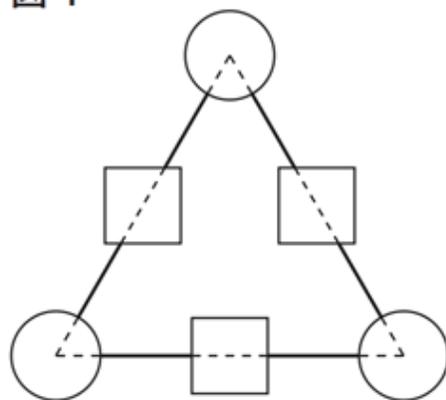
・また、表現した式に具体的な数値を代入することで、 2 と 4 や 4 と 6 などの表現したい数のみが、いつでも本当に算出されるかを生徒自身が確認できるようにすることも重要。

リーディングスキル 「具体例同定(理数)」

具体的な
問題例
大問6

- 6 次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいたものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかっている辺の両端の○に入れた整数の和が入ります。

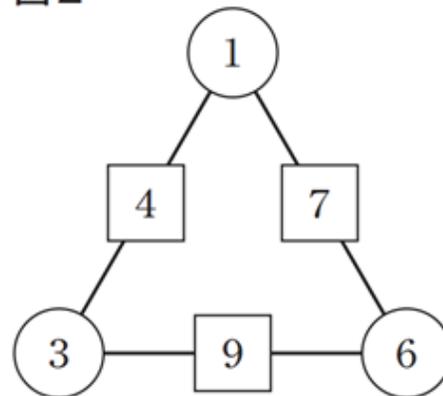
図1



計算の例

3つの○に1、3、6を入れると
3つの□にはそれぞれ
 $1+3$ 、 $3+6$ 、 $6+1$
の計算結果が入る。
だから、3つの□には4、9、7
が入る。

図2



具体的な
問題例
大問6
(2)

(2) 次の図は、千夏さんと優真さんが考えてかいたものです。

図3

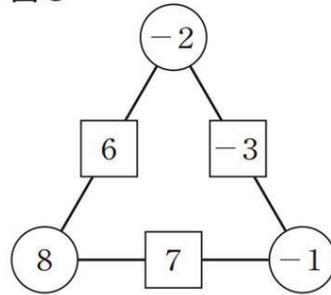
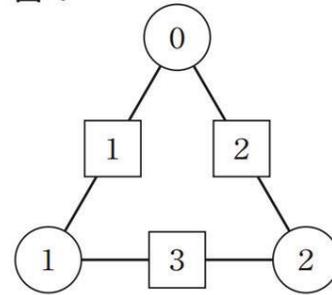


図4



千夏さんは、図2、図3、図4を見ながら、○に入れた整数の和と□に入る整数の和の間に何か関係があるのではないかと考え、次のように調べてみました。

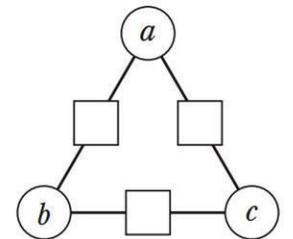
調べたこと

	○に入れた整数の和	□に入る整数の和
図2	$1 + 3 + 6 = 10$	$4 + 9 + 7 = 20$
図3	$(-2) + 8 + (-1) = 5$	$6 + 7 + (-3) = 10$
図4	$0 + 1 + 2 = 3$	$1 + 3 + 2 = 6$

前ページの調べたことから、 $20 = 2 \times 10$ 、 $10 = 2 \times 5$ 、 $6 = 2 \times 3$ のように、「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍になる」と予想することができます。この予想が成り立つことを説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

○に入れた整数を a 、 b 、 c とすると、
3つの□に入る整数は、
 $a + b$ 、 $b + c$ 、 $c + a$ と表される。
それらの和は、



$$(a + b) + (b + c) + (c + a)$$

$$= 2(a + b + c)$$

$a + b + c$ は○に入れた整数の和だから、
 $2(a + b + c)$ は○に入れた整数の和の2倍である。

したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

[趣旨] 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる

思考判断表現 等
A 数と式
正答率30.7% 全国35.9%

下線部の過程を含めた正答率4.0% 全国6.1%

無解答率31.3% 全国23.5%

- $a + b + c$ が整数である旨を書いている
(準正答 19.3%)

$= 2(a + b + c)$
 ~~$a + b + c$ は○に入れた整数の和だから、~~
 $2(a + b + c)$ は○に入れた整数の和の2倍である。
 したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

- ✗ $2a + 2b + 2c$ が $a + b + c$ の2倍である旨を書いている
(反応率 7.0%)

$= 2a + 2b + 2c$
 ~~$(2a + 2b + 2c) : 2 = a + b + c$~~
 $a + b + c$ は○に入れた整数の和だから、
 $2a + 2b + 2c$ は○に入れた整数の和の2倍である。
 したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

- 上記に加え、 $2(a + b + c)$ がどうなるのかについても書いている
(準正答 5.7%)

$= 2(a + b + c)$
 ~~$a + b + c$ は○に入れた整数の和だから、~~
 ~~$2(a + b + c)$ は○に入れた整数の和の2倍である。~~
 したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

- ✗ 上記に加え、途中の説明も書いている
(反応率 7.0%)

$= 2a + 2b + 2c$
 ~~$(2a + 2b + 2c) : 2 = a + b + c$~~
 ~~$a + b + c$ は○に入れた整数の和だから、~~
 ~~$2a + 2b + 2c$ は○に入れた整数の和の2倍である。~~
 したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

⇒ 「2倍」であることの説明のためには、「 $2 \times (\text{整数})$ 」であることを示す必要があるといった、式変形の目的を理解しているか

文字式を用いた説明の指導にあたって

文字を用いることの良さを理解していなかったり、式変形の目的について、理解しきれていなかったりする可能性がある。



授業において、 $a+b+c$ が整数である旨を書かないなど、生徒の解答を想定し、 $2 \times (\text{整数})$ をめざす目的を確認するといった、間違いに寄り添った指導を日常的に取り入れることが大切。

授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukouku/report/data/24mmath_idea_06.pdf#page=12



具体的な
問題例
大問6
(3)

(3) 優真さんは、正三角形を正四面体に変えても、各頂点の○に入れた整数の和と各辺の□に入る整数の和の間には何か関係があるのではないかと思います。正四面体の図をかいて考えてみることにしました。次の図5は、正四面体の図の各頂点に○を、各辺に□をかいたものです。

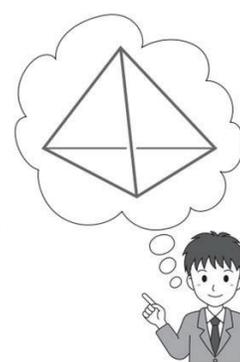
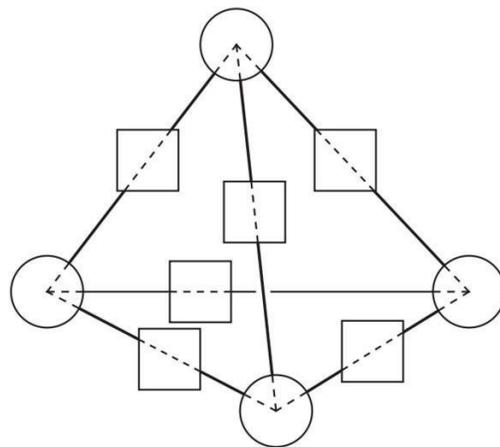


図5



このとき、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「〜は、……になる。」という形で書きなさい。

(正答例)

- □に入る整数の和は、○に入れた整数の和の3倍になる。
- ○に入れた整数の和は、□に入る整数の和の $\frac{1}{3}$ 倍になる。

[趣旨] 統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる

思考判断表現 等

A 数と式

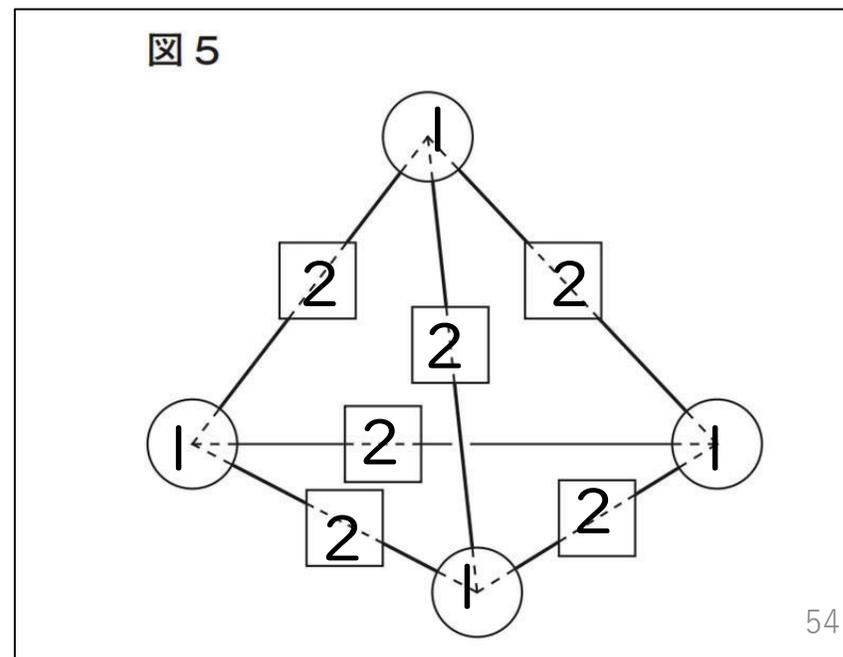
正答率31.4% 全国41.8%

無解答率41.5% 全国29.6%

無回答率41.5% 全国29.6%

【本市で調査を受けた554名中229名が無解答】

- ・6(2)「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍になる」のように、何倍になるかを予想するだけでよいことが、読み取れたか。あるいは、読んだか。(読み取れたうえでの不正解は7.7%/68.6%)
- ・「○がすべて1なら…」といった**単純化**や**帰納的な考え方**が身についているか。
- ・「○からすべて3方向に分かれているから」といった**数学的な考え方**ができたか。



調査問題を利用した指導にあたって

授業において、本調査問題のような場面設定を適切に取り入れ、問題を解決するために数学的な見方・考え方を働かせ、知識・技能を使って表現しようとすることも重要。

国研の調査官たちは、学習指導要領でめざす資質・能力育成の過程を、調査問題で具体的に表現しようとしています。

その他の授業アイデア例

データの活用

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath_idea_07.pdf#page=8



関数

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath_idea_08.pdf#page=12



図形

https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath_idea_09.pdf#page=11

